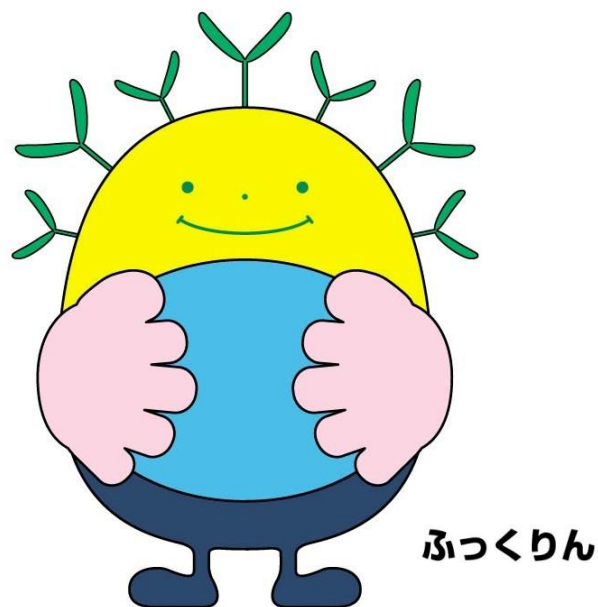


平成30年度 ふくいの木の利用の促進に関する施策の実施状況



1 県産材の利用推進

- ・県産材製品の価格や調達方法などの相談を受ける「ふくい県産材製品ワンストップ相談窓口」の開設
- ・県産材の利用を推進する「ふくいの木使ってもらい隊(県と木材関係団体で組織)」(平成29年8月結成)において、鉄道運輸機構や商工会議所など163社を訪問
- ・国体関連施設や年縞博物館などに県産材を利用
- ・ふくいの木の利用推進月間の10月に「みんなであつかおう『ふくいの木』の祭典」を開催し、4,800人が来場



ふくい県産材製品ワンストップ
相談窓口の開設 (福井市)



福井元気国体関連施設に利用
(歓迎ゲート 福井市)



みんなであつかおう「ふくいの木」の祭典
(総合グリーンセンター)

2 新たな分野での利用開拓

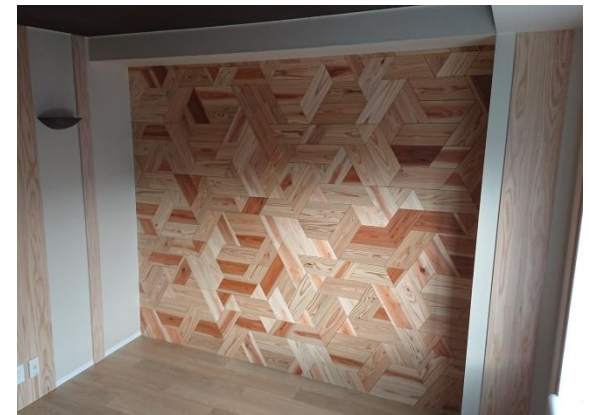
- ・国内最大規模の展示会「ジャパンホームショー」などへの出展や商談会など、販路を開拓
- ・既存の空間にミーティングスペースなどの新たな空間をつくる「ボックスinボックス」を2箇所設置し、県内の建築士等に対し「ボックスinボックス」を新たな利用方法として提案
- ・マンションの内装材にデザイン化した県産材製品を利用



大規模展示会への出展
(東京都)



ボックスinボックス
(福井県立図書館)



マンション内装の木質化
(福井市)

3 合板、集成材、木質バイオマスでの利用拡大

- ・合板や集成材工場、木質バイオマス発電施設に対し、間伐材を安定的に供給
- ・福井市に原木を集積するウッドターミナル等を整備し、A、B、C材に仕分け大型工場等に輸送
- ・発電施設や製紙会社への木質チップの安定供給を図るための加工機械を整備



福井県産スギ合板
(合板工場：県外)



ウッドターミナル
(福井市合島町)



木質チップ加工機械
(大野市)